

ITO
JUKU

伊東建築塾

NPOこれからの建築を考える

2025年度ご案内



2025年度の活動に向けて

今年度も公開講座は「～って何だろう」のシリーズを続けます。このシリーズは今年度で5年目となります。これまで建築、アート、ファッション、演劇、食、人間など、さまざまなジャンルで活躍されている方々を講師にお招きしてレクチャーやディスカッションをしてきました。この公開講座では、単にそれぞれの方の仕事や作品を紹介して頂くだけではなく、仕事や作品の背後にある思想を語って頂くように依頼してきました。

新年度も公開講座では、最先端の働き方改革を進めているソフトウェア開発会社の代表青野慶久氏、同郷、同世代でありながら全く異なる建築を作り続けている建築家の藤森照信氏、私が設計させて頂いた「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の総合プロデューサーとして、その運営に真摯に関わって下さった吉成信夫氏や、長年に亘って私の建築のテキスタイル関係の仕事をして下さっているデザイナーの安東陽子氏、また我々の子ども建築塾の延長としてGAKUの中高生向けワークショップや、能登震災被災地の復興プロジェクトに関わって下さっている建築家の廣岡周平氏と多様な方々をお招きしようと考えております。

私自身も昨年2月にレクチャーさせて頂いた「建築って何だろう」のテーマを1年間推敲した結果を話させて頂こうと思っております。

子ども建築塾は15年目を迎え、講師陣やTAの学生達とも話し合いを重ねて、年毎に充実した内容となっています。初期の子ども達は大学生となり、建築学科を専攻している人もかなりいるようです。今年度はさらに充実すべく、講師共々張り切っております。御期待下さい。

2025年3月

NPOこれからの建築を考える

理事長 伊東 豊雄



伊東豊雄

1941年生まれ。建築家。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」(宮城)、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」(岐阜)、「台中国家歌劇院」(台湾)、「2025年日本国際博覧会 EXPOホール」(大阪、2025年4月オープン予定)など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞多数。文化功労者、日本芸術院会員。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムがある愛媛県今治市大三島においては、地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

「NPOこれからの建築を考える」は、東京の伊東建築塾と、瀬戸内海の大三島にある今治市伊東豊雄建築ミュージアムを結ぶ新しい建築教育の場です。この二つの機関を運営するために2011年にNPO法人を立ち上げました。これからの時代や社会に要請される、優れた人々を育成することを目的とし、人や自然との関係を包括的に捉え直す思想に基づいた建築教育を行っていきたいと考えています。

組織

理事長：伊東豊雄

副理事長：太田浩史

理事：所 洋介、長谷川浩司、矢内原充志、
橋田光靖、藤原史宣、尾越 優、
泉 洋子、東 建男、岡野道子、
アストリッド・クライン、柴田淑子
式地香織、橋元美加子

監事：古林豊彦

会員数（2025年2月1日現在）

正会員：個人 116 名、団体 16 社 計 132 名

賛助会員：計 10 社

活動場所

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

アクセス：恵比寿駅より徒歩約13分

※駐車場はございません。
お車で越しの方は、お近くの
コインパーキングをご利用ください。

活動内容

A 伊東建築塾事業

① 会員公開講座（年間6回開催）

さまざまな分野で活躍する講師を招くレクチャーシリーズ。

② 子ども建築塾（前期・後期2期制、年間20回開催）

年間を通じて建築の基礎を学ぶ子ども向けの建築スクール。

B 今治市伊東豊雄建築ミュージアム企画運営事業

展覧会企画

講演会・セミナー・コンサート・ワークショップ企画

運営サポート



伊東建築塾 恵比寿スタジオ ©Kai Nakamura



子ども建築塾の様子



今治市伊東豊雄建築ミュージアム ©Kai Nakamura

NPOこれからの建築を考える 会員募集のご案内

会員種別・会費

会員種別	入会金	納入額
正会員（個人・団体）	0円	10,000円（年会費7,000円、寄付金3,000円） ※10,000円を超える金額をお支払いいただいた場合は 寄付金とさせていただきます。
賛助会員（個人・団体）	0円	年会費300,000円／口（1口以上）

- ・正会員は当法人の目的に賛同し、活動を推進する個人および団体の方です。
- ・賛助会員は当法人の目的に賛同し、活動を援助する個人および団体の方です。

会員期間

新規（1年目）の場合、入会日より1年間（入会月の翌年同月末日まで）有効。

継続（2年目以降）の場合、更新月の翌年同月末日まで有効。

会員特典

正会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

賛助会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回2名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・当法人のウェブサイト、会員様の法人名およびウェブサイトのリンクを掲載させていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

入会・継続お申し込みと会費納入方法

- ・当法人のウェブサイトの入会お申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。
<http://itojuku.or.jp/course/a/form/>
- ・下記の銀行口座までお振込みにてお支払い下さい。

みずほ銀行 青山支店 普通 2041381

特定非営利活動法人これからの建築を考える トクヒ)コレカラノケンチュクオカンガエル

- ※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
- ※ お申し込みフォームの受理とご入金確認をもって、入会・継続手続きが完了いたします。

会員公開講座

「～って何だろう？」

— 建築関係者に限らず、広く一般の方を対象として「これからの建築」のあり方を考えます。

塾長・モデレーター

「建築」って何だろうIV

伊東豊雄
(建築家)



Photo: Kai Nakamura

今日私達はスマートフォン等の利用によって情報や知識が容易に手に入るようになった反面、物事について考えなくなってしまいました。「何故？」と問いかけることがなくなってしまったのです。そこで本講座では著名な講師に御登場頂き、各専門分野の本質を子ども(小学生高学年程度)でも理解できるような平明さで語っていただこうとするものです。

講師(50音順)

「チームワーク」って何だろう

青野慶久

(サイボウズ株式会社 代表取締役社長)



1971年生まれ。愛媛県今治市出身。大阪大学工学部情報システム工学科卒業後、松下電工(現 パナソニック)を経て、1997年8月愛媛県松山市でサイボウズを設立。2005年4月代表取締役社長に就任。SAJ(一般社団法人ソフトウェア協会)筆頭副会長を務める。著書に『チームのことだけ、考えた。』(ダイヤモンド社)、『会社というモンスターが、僕たちを不幸にしているのかもしれない。』(PHP研究所)、監修に『「わがまま」がチームを強くする。』(朝日新聞出版)がある。

「テキスタイル」って何だろう

安東陽子

(テキスタイルデザイナー・コーディネーター)



武蔵野美術大学短期大学部卒業後、株式会社布(NUNO)で勤務。2011年独立し「安東陽子デザイン」設立。伊東豊雄、山本理顕、青木淳、平田晃久、藤本壮介など数多くの建築家とのコラボレーションで様々な空間にテキスタイルを提供。「みんなの森 ぎふメディアコスモス」や「台中国家歌劇院」などの伊東豊雄氏の建築プロジェクトにおいてもテキスタイルデザインを担当。2020年～多摩美術大学客員教授。

「コミュニティ」って何だろう

廣岡周平

(建築家)



1985年大阪府羽曳野市生まれ。2008年関西大学工学部建築学科卒業。2010年横浜国立大学大学院Y-GSA修了。2011年からSUEP、2015年から大成建設設計部に勤務し、2016年に柿木佑介と共にPERSIMMON HILLS architectsを設立し、共同で主宰する。2021年より伊東建築塾×GAKUの中高生への建築クラスの講師を務める。主な作品に「上有住地区公民館」「宝性院観音堂」。

「建築」って何だろう

藤森照信

(建築家、建築史家)



1946年、長野県生まれ。東京大学大学院博士課程修了。東京大学生産技術研究所教授、工学院大学教授を経て、現在は、東京大学名誉教授、工学院大学特任教授、江戸東京博物館館長。全国各地で近代建築の調査、研究にあたっている。主な著書に『明治の東京計画』(岩波書店)、『建築探偵の冒険東京篇』(筑摩書房)等。建築作品に「神長官守矢資料館」、「熊本県立農業大学校学生寮」、「ラ コリーナ近江八幡」等。

「公共建築」って何だろう

吉成信夫

(元 みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー)



39歳の時、家族と岩手に移住。「石と賢治のミュージアム」、環境教育施設「森と風のがっこう」を立ち上げる。その後、岩手県立児童館の初代館長、岐阜市立図書館長等を歴任。現在は本のひみつ基地(無印良品柳ヶ瀬店)を運営。各地の文化的空間づくりに関わっている。著書に『ハコモノは変えられる!子どものための公共施設改革』(学文社)がある。東海国立大学機構参与、明石市本のまち推進アドバイザー、前橋市立図書館新本館アドバイザー会議委員。

開催日数

年間 全6回(土曜午後もしくは夜、1回あたり2~3時間を原則としています。)

※都合によって変更の可能性がございます。

会場

伊東建築塾 恵比寿スタジオ
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

受講対象

正会員、賛助会員、塾生、TA

定員

60名

過去の講座のレポートは伊東建築塾のブログから
ご覧いただけます。

<http://itojuku.or.jp/blog/>



受講料

無料

申込方法

開催日の1ヶ月前までにご案内のメールを配信しますので、指定の方法にてお申込みください。

子ども建築塾

「いえって何だろう?」「まちって何だろう?」

— 子どもたちの建築やまちに対する意識を高め、思考や表現の個性をのびします。

小学校高学年の児童を対象に、一年を通して建築やまち、環境について考えます。

前期は「いえ」をテーマに、住宅のスケールや模型のつくり方、発表の仕方などを学びながら、想像力あふれる

「いえ」を設計します。後期は「まち」をテーマに、まちの成り立ちや公共空間、ランドスケープについて考えます。

テーマ

前期課題(4~9月) 『風とともに暮らすいえ』

後期課題(10~3月) 『路地のまち』

講師

伊東豊雄
(建築家)



1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」「2025年日本国際博覧会 EXPOホール」(大阪2025年4月オープン予定)など。

アストリッド・クライン
(建築家)



クライン ダイサム アーキテクト (KDa) 代表。共にRCAを修了したマーク・ダイサムと1991年に設立。主な作品に「代官山T-SITE/蔦屋書店」「GINZA PLACE」「星野リゾート リゾナーレ那須 POKO POKO」「toggle hotel suidobashi」など。www.klein-dytham.com

太田浩史
(建築家)



1968年東京生まれ。1993年東京大学大学院建築学専攻修士課程修了。スーブ代表。東京ピクニッククラブ共同主宰。博士(工学)。主な作品に「Populou SCAPe」,「南阿蘇鉄道 高森駅」,「矢吹町第一区自治会館」など。

柴田淑子
(建築家)



東京都生まれ。日本女子大学大学院修士課程修了。1999年より建築設計事務所エアーを共同主宰。子ども・教育に関する施設や寺院、住宅などの設計に携わる。主な作品に「真理学園幼稚園」,「神田寺別院」など。

式地香織
(建築家)



日本女子大学大学院修士課程、伊東豊雄建築設計事務所を経て、フリーランス。大学におけるデザイン教育の経験と建築家としての職能を活かして、子どもたちの生きる力や場を育むべく、コドモチョウナイカイ事務局を設立。

その他

子ども建築塾関連のクラス

【伊東子ども建築塾 福岡】

半期(4~8月)開講

<https://itojuku.or.jp/course/children/fukuoka/>



中高生講座【GAKU】

半期(秋頃~3月)開講予定

<https://gaku.school>



時間・回数

隔週土曜日 13:00~14:30/15:30~17:00 全20回、2期制(前期10回 / 後期10回)

※授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

※原則として、一年間通塾いただける方のみお申し込みいただけます。

受講対象

小学校高学年(4年~6年)の児童

定員

40名

※定員を超えるご応募があった場合は、模擬授業による選考を行わせていただきます。

※模擬授業では、約1時間の間、出題されたテーマの「いえ」のスケッチを描きながら、講師が個別に対話を行います。

受講料

年間152,000円(月額11,000円×12ヶ月 + 教材費20,000円 / 年)

※通塾にかかる交通費は、別途ご負担ください。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/form/>



TA（ティーチング・アシスタント）募集

— 塾生一人ひとりの特性や理解の度合いの把握、学習や制作のサポートをお願いしています。

子ども建築塾では、TA(ティーチング・アシスタント)の募集をしています。塾生たちの授業のサポートをしながら、講師の建築家から直接レクチャーを受けたり、建築家が設計した建物を見学したり、子どもたちと一緒に建築を学べるだけでなく、大学や職場を超えた建築仲間ができるチャンスです！

TAにお願いしている3つのサポート



技術面のサポート

道具や材料選び、模型の表現方法、スケッチの描き方などのフォロー



ファシリテーター

先生方からのコメントの要約



授業準備

主に後期まち課題などのみんなで使う敷地模型の準備

TAになって経験できること



講師・TA間での意見交換

前期・後期の授業がはじまる前に、TA向けの課題説明会を行います。

子どもたちが取り組む課題を事前に共有し、講師と意見交換を行います。



見学会の参加

課題に合わせた見学会を行っており、当日の引率を若干名にお願いしています。

※授業内容により、開催しない場合もございます。



建築家の講師からの指導

授業内で行われる塾生向けの特別なレクチャーと一緒に聴講でき、日々の授業内でも、直接講師からレクチャーを受けます。



TA間でのイベント企画

TA有志でのイベント企画も大歓迎です。過去には、見学会やピクニックに出かけたり、大学や仕事で取り組んでいることの発表会などを行いました。

時間・回数

隔週土曜日 13:00~14:30/15:30~17:00 全20回、シフト制

※授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

対象

大学生以上

定員

なし

特典

会員公開講座の無料聴講（ご本人のみ）

交通費

各回500円支給

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/taform>





T I M A
I M A B A R I
Toyo Ito Museum of Architecture, Imabari

今治市伊東豊雄建築ミュージアム

Toyo Ito Museum of Architecture, Imabari

今治市伊東豊雄建築ミュージアムは、瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島に2011年に開館しました。主に展示に使用される「スチールハット」と、アーカイブの保存およびワークショップの場となる「シルバーハット」があり、伊東建築塾が取り組む大三島のまちづくりの活動を紹介する他、これからのまちや建築について考えるレクチャーや子どもを対象としたワークショップなど、さまざまな活動を行っています。

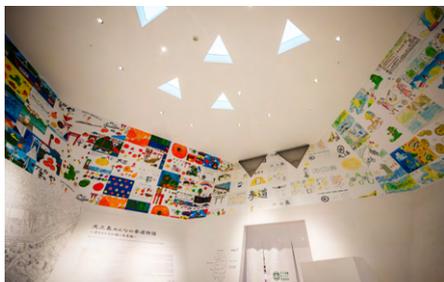


スチールハット ©Daici Ano



シルバーハット ©Daici Ano

2024年度のイベント



展示風景 ©Shuhei Miyahata

今治市伊東豊雄建築ミュージアム2024年度展覧会

大三島みんなの参道物語 ～子どもたちが描く未来編～

会期: 2024年10月3日～2025年9月12日

続編となる本展示は、昨年の提案から実現したプロジェクトの報告や、新たに子どもたちと行ったワークショップをスケッチや模型を中心に展示しています。本プロジェクトを率いる3名の建築家のインタビュー映像と共に、子どもたちが描く大三島の未来の実現に向けた取り組みをご覧ください。



ワークショップ風景 ©Kaako Yoshino

子どもワークショップ「参道をあかりで照らそう！」

日時: 2024年7月13日

講師: 面出薫、東悟子

照明デザイナーの面出薫さんと東悟子さんをお迎えしてワークショップを開催しました。建築における照明の役割を学びながら、参道の建造物が魅力的に映るように懐中電灯でライトアップしました。手づくりの灯籠で足元を照らし歩く様子は、昔ながらの風景が蘇るようでした。



開催風景 ©Kaako Yoshino

soloコンサート「音楽は風景であり、ときどき魂の乗り物になる」

日時: 2024年10月19日

出演: 坂田明

岩田健母と子のミュージアムにて、日本のジャズ界を代表するアーティスト、坂田明さんをお迎えしました。いぶし銀の重厚な音色は、大三島の豊かな自然と融合し、聴く人の魂を揺さぶるコンサートとなりました。